

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	健康教室の皆さんを今年度は初めて招待し、とても喜んでいただけたので、この活動を継続・維持していきたい。	地域とのつながりを大切にする。	4年目に入る健康教室の継続、地域行事への参加 今年度もグループホームに招待できるように計画していきたい	12ヶ月
2	2	利用者が楽しみにしている、バイキング・外食は継続していくことが大切だと思っている。職員と利用者が一緒に楽しみたいと思っている考え・意見を言える環境を作り、一人一人の職員が積極的に計画できるように	利用者が笑顔で楽しく食事ができる環境を整える。	少しマンネリ化したメニューの内容の検討 利用者に昔懐かしい郷土料理を聞いたり、アドバイスを受ける。 新たに喫茶を開きみんなで手作りおやつ・ミスタードーナツのお取り寄せを行い、楽しい時間をたくさん作りたい。	12ヶ月
3	7	長寿会全体で認定制度作業部会を中心に人事考課・OJT等の部会を立ち上げ、職員の育成に取り組んでいる。	キャリアアップによるモチベーションの向上	一人一人の職員に必要な研修への参加を計画的に行う。	12ヶ月
4	8	これまでも利用者の思いを、コミュニケーションをとりながら確認し対応してきたが、今後も全職員が利用者一人一人の思いを理解しながら、その人に沿った生活・活動が続けられるように支援とて行きたい。	利用者の思いに沿った生活の実現	日頃から利用者とのコミュニケーションをとり、訴えや要望を聞く 利用者の情報は職員同士で共有しその人に合った支援をしていく。 ほうれんそうを徹底し棟だけでなく、全体で支援できるように	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。